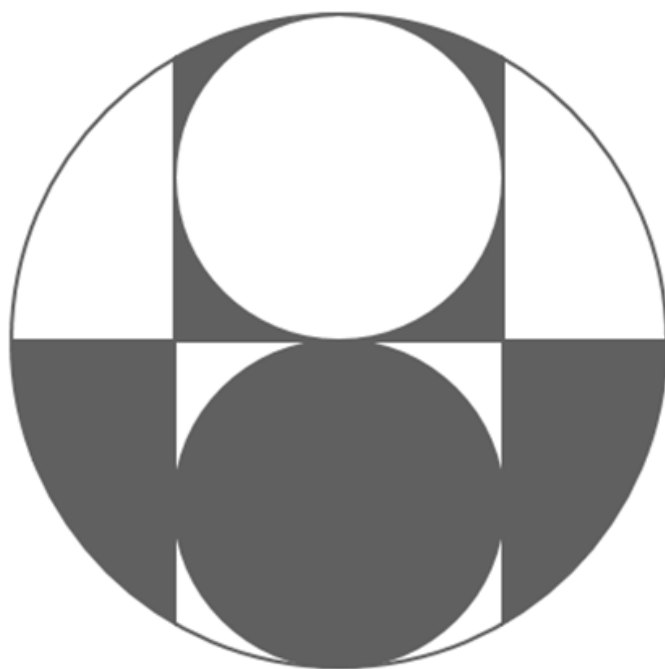


第 39 回
茨城県母性衛生学会
総会並びに学術集会
Web 開催プログラム

茨城県における新型コロナウイルス対応と課題
—「with コロナ」周産期における新しいスタイルを考える—



学術集会担当会長 白根 みゆき

ライブ配信： 2020年12月5日(土)
オンデマンド配信： 2020年12月5日(土)～2021年1月31日(日)
学術集会サイト： <https://39th.ibaraki-bosei.com>

白根みゆき（茨城県母性衛生学会 幹事, 筑波大学附属病院看護部 看護師長）

- 1 COVID-19に関連した茨城県助産師会の活動体制整備状況
茨城県助産師会
○礪山あけみ, 西出 弘美
- 2 茨城県母性衛生学会ウェブサイトのリニューアル
ーコロナ禍での学会員とのコミュニケーションを模索してー
1)茨城県立医療大学看護学科, 2)茨城県立医療大学助産学専攻科
○土居岸悠奈¹⁾, 長岡由紀子²⁾, 西出 弘美²⁾, 山中 清子²⁾, 山波 真理¹⁾, 松田 英子¹⁾, 島田 智織²⁾
- 3 コロナ禍におけるオンライン授業の展開 ー助産学実習に至る取り組みー
茨城県立医療大学助産学専攻科
○山中 清子, 長岡由紀子, 西出 弘美, 島田 智織
- 4 COVID-19に対する感染対策を徹底した A 大学における母性看護学実習方法の報告
筑波大学医学医療系
○金澤 悠喜, 川野亜津子, 岡山 久代
- 5 在日外国人家族を対象としたオンラインによる子育て支援
1)筑波大学医学群看護学類, 2)筑波大学大学院人間総合科学研究科看護科学専攻,
3)筑波大学医学医療系, 4)kosodate はくはく
○門馬 明帆¹⁾, 椎葉 奈子²⁾, 太刀川知沙¹⁾, Lak Chankunthy¹⁾, 杉本 敬子³⁾, 前島 朋子⁴⁾
- 6 助産師出向に参加しての学び ー助産師出向支援事業を活用してー
水戸赤十字病院産婦人科病棟
○照沼美登理
- 7 HPV ワクチンの現状と普及に向けて地域と連携した取り組み
1)つくばセントラル病院産婦人科, 2)牛久保健センター
○長田 佳世¹⁾, 辻本 夏樹¹⁾, 柴田 衣里¹⁾, 田中 奈美¹⁾, 大野 直子²⁾
- 8 境界型パーソナリティ障害合併妊婦へのかかわり
筑波大学附属病院看護部
○池田 歩美, 安宅和佳奈, 宮島 ルミ, 白根みゆき
- 9 当院の産後ケアの現状と考察
つくばセントラル病院看護部
○清水ひろみ, 田上 栄子
- 10 当院の要支援妊婦の背景から要支援妊婦保健指導の現状と問題点を明らかにする
龍ヶ崎済生会病院看護部 3 階南病棟
○清水 洋子, 鈴木 美樹, 高橋 里美, 浅野 早苗, 鈴木 恵子
- 11 不妊治療による妊娠と Edinburgh Postnatal Depression Scale の点数に関する検討
龍ヶ崎済生会病院産婦人科
○今 翼, 小倉 剛, 佐藤 愛佳, 大橋 加奈, 兒玉 理, 陳 央仁, 重光 貞彦

12 不妊治療後の母親における産褥期の心理特性とその課題の文献検討

1)筑波大学医学群看護学類, 2)筑波大学医学医療系

○大木 小町¹⁾, 金澤 悠喜²⁾, 川野亜津子²⁾

13 在日外国人の社会文化的要因・保健医療ニーズに関する文献検討

1)筑波大学医学群看護学類, 2)筑波大学医学医療系

○中根 舞乃¹⁾, 金澤 悠喜²⁾, 川野亜津子²⁾

14 助産師による児童虐待予防のための支援に関する国内文献レビュー

1)筑波大学医学群看護学類, 2)筑波大学医学医療系

○川元 菜那¹⁾, 金澤 悠喜²⁾, 川野亜津子²⁾

特別講演

配信期間 12月5日9:00~1月31日12:00

はじめの1000日 —胎児期から乳児期の栄養の重要性—

座長:綿引 寿栄 (茨城県母性衛生学会 理事, 日立製作所日立総合病院看護局 アドバンス助産師)

講師:大山 牧子 (神奈川県立こども医療センター 地域保健推進部部长)

シンポジウム

配信期間 12月5日9:00~1月31日12:00

茨城県における新型コロナウイルス対応と課題 —「with コロナ」周産期における新しいスタイルを考える—

1. 茨城県における診療体制と課題

シンポジスト:榎本 有希 (筑波大学救急・集中治療部 講師)

2. 出産現場における対応と課題

シンポジスト:長田 佳世 (社会医療法人 若竹会つくばセントラル病院 産婦人科診療部長)

3. 総合周産期母子医療センターにおける対応と課題

シンポジスト:龜山 千里 (総合病院土浦協同病院 小児看護専門看護師)

4. 地域における育児支援の現状と課題

シンポジスト:玉置 利香 (アイナ助産院 院長)

シンポジウム ディスカッション

ZOOM ライブ 12月5日14:00~15:00

座長:白根みゆき (茨城県母性衛生学会 幹事, 筑波大学附属病院看護部 看護師長)

坂間伊津美 (茨城県母性衛生学会 理事, 常盤大学看護学部 教授)

本学術集会、唯一のライブセッションです。シンポジストの講演を視聴いただいたうえで、是非、ご参加ください。はじめてのZOOM(Web会議システム)にチャレンジする方も大歓迎です。はじめの一步をどうぞここから。

※ ZOOMは無料使用が可能です。各自、サイトから登録を行ってください(<https://zoom.us>)

第40回記念学術集会 会長挨拶

配信期間 12月5日9:00~1月31日12:00

佐藤 豊実 (茨城県母性衛生学会 会長, 筑波大学医学医療系 教授)

I 事前参加登録について

- ▶ インターネットからオンライン参加登録を行い、学術集会サイト入場に必要ログインIDとパスワードを入手してください。
- ▶ 推奨 OS/ブラウザ は、Windows 7、Internet Explorer 11.0 以降です。
- ▶ スマートフォン等では、正しく機能しないことがあります。その場合は、推奨の環境にあるパソコンからの登録をお願いいたします。

1. 茨城県母性衛生学会サイト(<https://ibaraki-bosei.com>)にアクセスしてください。
2. 画面中央にある「学術集会参加登録フォーム」ボタンをクリックしてください。「第39回学術集会(ウェブ開催)参加登録」が表示されます。
3. 必要事項を入力して、「確認画面」ボタンをクリックしてください。
【ご注意】 会員番号は学会からの郵送物宛名ラベルに印字されています。
4. 「確認画面」が表示されます。記入内容を確認し、「送信ボタン」を押してください。
5. 登録フォームに記載したメールアドレスに「第39回学術集会(ウェブ開催)参加登録」を件名とするメールが自動送信されます。メール内のログインIDとパスワードをご確認ください。
6. 12月5日以降、第39回学術集会サイト(<https://39th.ibaraki-bosei.com>)にアクセスし、学術集会にご参加ください。



II オンライン総会について

当初9月の総会開催を予定しておりましたが、学術集会の延期とWeb開催への変更に伴い現地開催を断念いたしました。参加を予定いただいておりました会員の皆様には、心よりお詫びいたします。新たな総会は、下記の通りオンラインにて開催いたします。資料をご確認の上、忌憚のないご意見をお寄せください。

資料公開期間:12月5日 10:00~11:00
場所:2020年度総会会場(第39回学術集会サイト内)
方法:コメントフォームを利用した意見収集

III ウェブ開催に際してのご注意

本学術集会の内容に関する著作権は、講演者に属しています。学術集会サイトへのアクセスをもって、本講演の著作権、肖像権の保護に同意いただいたと判断をいたします。十分にご配慮いただいたうえで、閲覧してください。

<閲覧に際しての同意事項>

1. ログインIDやパスワードを他者に知らせたり、共有したりすることのないよう管理すること。
2. 無断で複写・複製・編集・録画・録音・転用(本講演のスクリーンショット・写真撮影・ダウンロード・他のサイトへのアップロードを含む)など著作権、肖像権の侵害、および不当な権利侵害を行わないこと。
3. 不当な権利侵害を行うことにより生じた損害を賠償すること。

IV 領収証等の発行について

1. 領収書
 - 本学会学術集会は、学会員特典として無料で開催しております。そのため、学術集会としての領収証発行は行っておりません。ご了承ください。
 - 会費納入時の「振替払込請求書兼受領書」をもって領収証に代えさせていただきます。
2. 証明書類(CLoCMIP レベルⅢ)
 - ステップアップ研修「学術集会」の参加に関する証明書類を希望される方は、「参加証・領収書発行受付」(第39回学術集会サイト内)からお申し込みください。
 - 抄録の必要な場合、「抄録集」(第39回学術集会サイト内)から、各自、ダウンロードしてください。